

化学科講演会

クロマトグラフィー余話と チタニア充填剤の合成に関する話

講師：山梨大学大学院医学工学総合研究部 谷 和江先生

日時：9月27日（木） 17時～18時

会場：物質生産棟 161 演習室

主催：理学部化学科

共催：グリーンケミストリー連携教育研究センター

～ 講演の概要 ～

クロマトグラフィーの歴史を振り返りながら、クロマトグラフィーの創始者 M. S. Tswett と化学者 Willstatter の関わりについて述べる。加えて、Willstatter が提案した花の色の pH 説とそれに反論した日本人科学者達について解説する。また、高速液体クロマトグラフィーの充填剤としてのチタニア（酸化チタン）合成について述べる。そのチタニアが熱触媒として働くことについて説明し、その応用としての新規な充填剤合成についても触れる。

世話人・問い合わせ先 化学科 佐藤敬一 (6195)

e-mail : keiichi@chem.sc.niigata-u.ac.jp

講演会后、懇親会を開催します。

懇親会参加希望の方は、9月26日までに世話人まで